



No.008 クオータ制をどう考える？ 賛成。まず県議会議員に導入するべき。



note:「北欧ノルウェー便り(鎧麻樹)」ノルウェー政府(第2次ソールバルグ内閣)閣僚(2018.1)

クオータ制とは、議員や企業役員の一定割合を女性に割り当てる制度をいいます。

学生までは特に女性と意識せずに、優れた能力を発揮する女性が多いと感じるのに、社会に出た途端、急にその能力を発揮できない様々なバリアにぶつかっているのを見るのはとても残念です。本人にとってはもちろんのこと、社会にとっても大きな損失です。

子育てを女性の仕事と考える社会意識がその根底にあるのでしょう。民間企業では「女性の大活躍推進福岡県会議」のような素晴らしい取り組みによって地道に環境を改善しています。しかし自主的な目標設定で限界があるのなら、強制的なクオータ制もやむをえません。

これに対して逆差別、一人一人の個性であって女性と一括りするべきでない、女性自身が望んでいない、などの反対理由があります。しかし政治の世界では100カ国以上で導入されているのです。日本の女性議員比率は国際的に見ると最低レベル(13%, 140位)。女性の実質的参政権の問題でもあります。日本だけできないという理由はありません。

福岡県議会の女性議員比率は10%にも満たない状況です。真っ先に導入して模範となるべきです。